

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	千葉市環境保健研究所	階数	地上3F
建設地	千葉県千葉市若葉区大宮町3816-1	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	60人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,400時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2023年5月 予定	評価の実施日	2023年4月20日
敷地面積	4,591㎡	作成者	塩谷淳
建築面積	1,542㎡	確認日	2023年4月20日
延床面積	4,346㎡	確認者	安達学



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%
②建築物の取組み 73%
③上記+②以外の 73%
④上記+ 73%

(kg-CO₂/年・m²)

0 46 92 138

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 4
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR3 敷地外環境: 3
LR2 資源・マテリアル: 4
LR1 エネルギー: 4
Q1 室内環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.2

LR のスコア = 3.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合 ・千葉県千葉市に建設される事務所である。 ・外皮性能を高め、高効率な設備機器の導入により環境負荷の低減を図るとともに、ライフサイクルCO ₂ 排出量の低減に努めている。		その他 -
Q1 室内環境 ・ほぼ全面的にF☆☆☆☆の建材を使用し、全館禁煙として室内の良好な空気質環境の確保を図っている。	Q2 サービス性能 ・耐用年数の長い内装材・設備機器の採用により、建物の耐用性の向上に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) ・植栽による修景、視点場からの外観パースによる検討等、良好な景観形成へ配慮した取り組みがある。
LR1 エネルギー ・外皮性能を高め、効率のよい空調機器・全面的なLED照明の導入など、高効率な設備システムを導入することで省エネルギー化を図っている。	LR2 資源・マテリアル ・主要水栓は節水器具とし、節水便器を使用する等水資源の保護に配慮している。 ・O Aフロアの採用によって部材の再利用可能性向上を図り、躯体と仕上材の分離を容易にすることで、解体時におけるリサイクルを促進させる対策がある。	LR3 敷地外環境 ・高効率な設備機器の採用によりCO ₂ の削減に配慮している。 ・周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される